

『予算の近代化プログラムーより少ないお金で最大の効果を』(案)

予算のアウトカム	21年12月 or 3月末まで(22年度予算)	22年12月末まで(23年度予算)
総額のコントロール	<ul style="list-style-type: none"> <li>○<u>予算検討閣僚委員会による予算案の調整</u> 21/12: 集権的に予算の重要事項を検討・調整・決定</li> <li>○<u>中長期の財政戦略の検討・導入</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○<u>中期財政フレーム(複数年度予算)による予算編成</u> 22夏: 最新の経済見通しを作成し、現行施策に基づく4ヶ年の歳入歳出の見通しを作成・公表(各会計別・会計連結・一般政府) フレームを踏まえ予算編成方針を作成・発表</li> <li>○<u>予算関連文書の見直し・透明性向上</u> 予算、年央、決算時に予算情報を開示(国・省庁別の財務諸表の早期公表を含む)</li> <li>○<u>日本版財政責任法の検討(財政戦略を裏付ける)</u></li> </ul>
戦略的な資源配分	<ul style="list-style-type: none"> <li>○<u>行政刷新会議による事業仕分け(予算編成に反映)</u></li> <li>○<u>内閣の戦略計画・政策達成度目標の導入</u> 21/12: 内閣の戦略目標・指標を予算案とともに発表、国会提出</li> <li>○<u>各省庁年次計画の導入</u> 内閣の戦略計画に貢献するための計画を作成し、国会提出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○<u>行政刷新会議による事業仕分け</u> 本格的な予算編成に入る前の春から夏に実施</li> <li>○<u>内閣の政策達成度目標の成果報告書の作成準備</u></li> <li>○<u>各省年次報告書(財務諸表含む)の作成準備</u></li> </ul>
効率的な執行	<ul style="list-style-type: none"> <li>○<u>予算繰越制度の明確化</u> 現状把握と繰越のルールを明確化する</li> <li>○<u>調達制度の現状把握と見直し</u> 公益法人等への補助金・委託の厳格化 物品・サービス(IT等)の購入の効率化 市場化テストの活性化・コストの可視化</li> <li>○<u>会計検査院の活用強化(特に業績監査)</u></li> <li>○<u>省庁・独法等毎に予算執行の効率化目標の導入</u> 次官・理事長の責任の明確化と評価</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○<u>一般行政経費の大括り化</u> 旅費等の細目を止め、弾力的に流用できるようにし、他方で効率化させるため毎年X%削減</li> <li>○<u>決算書等で政策コスト計算</u> 予算がどう効率的に使われたかを説明させる</li> <li>○<u>財務責任者制度(CFO)・内部監査制度の検討(運用+法案化)</u></li> </ul>

(注) 複数のアウトカムにかかるメニューがあるが、重複記載はしていない。